

- 西本願寺で法統継承式□1
- 阿弥陀さまと私□2
- 新・祖蹟点描□3
- 法統継承式特集□4
- 本山・教区・各組の動き□7
- つれもて聴こら□8



『紀伊国名所図会』に描かれた江戸時代後期の齋森御坊

2014年(平成26年)
7月1日
第101号

発行:「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 電話(073)422-4677 URL <http://saginomori.or.jp/>

本願寺で法統継承式

約8000人が新門主誕生祝う

即如ご門主から専如ご門主へ

京都の本山本願寺で6月6日、第25代専如ご門主(大谷光淳門主)が第24代即如ご門主(大谷光真門主)から宗祖親鸞聖人以来の法統(仏法の伝統)を継承し、本願寺住職と浄土真宗本願寺派門主の両職を受け継ぐ「法統継承式」が行われ、全国から参集した約8000人の僧侶と門徒らを前に、法要と式典が執り行われた。



法統継承式の法要で御影堂内陣を進まれる専如ご門主

法要表白で親鸞聖人 御真影前に決意表明

法統継承式第一部の法要は午前10時から、新しくご門主となった専如ご門主が導師を務め、阿弥陀堂と御影堂で相次いで勤められた。専如ご門主は、宗祖親鸞

聖人の御真影を安置する御影堂でのお勤めに際し、法要の意義を述べる表白の中で、親鸞聖人の御真影の前に決意表明。

「顧みますと、宗門をとりまく社会の構造は、現在大きく変化しており、伝道教化のあり方に、大胆な発想の転換が求められています。よって、門信徒の方々の一人ひとりが、浄土真宗を身近に感じられるよう、世代や地域の多様性に即して、み教えとつながる機会を作り出していくことが大切です。ここにおいて、如来の確かな救いに支えられ、自己を省みつつ、人々の苦悩に向き合い、共に浄土への人生を歩む念佛者の輪がいよいよ広がっていくことを願ってやみません」

宗門に時代即応の変革を促す専如ご門主のお言葉に、満堂の参拝者からはお念仏のどよめき。喜びと期待を胸にお勤め唱和する参拝者の声が、堂内に響き渡った。

「平和を希う念仏者の集い」

今年も7月9日、鷺森別院

和歌山教区では、1945年(昭和20)7月9日の和歌山大空襲の惨状に思いをよせ、戦争犠牲者を追悼

し平和への取り組みを進めるため、第21回平和を希う念仏者の集い―全戦没者追悼法要―を鷺森別院で開く。

午後1時半から正信念仏偈をお勤めし仏教讃歌を唱和、「憲法9条は仏さまの願いです」と題した石川欣也師(大和郡山市高田町・善正寺)の講演を聴く。ご自由にお参りください。

- 専如門主 略年譜
- 1977年 ご誕生
- 1992年 お得度され、新門主となる
- 2003年 浄土真宗本願寺派仏教青年連盟総裁に就任
- 2008年 築地本願寺副住職に就任
- 2010年 ポーイスカウト日本連盟特別顧問に就任
- 2014年6月6日 本願寺住職、浄土真宗本願寺派門主に就任

④⑤⑥面に関連記事